

# 堀之内医療センターX線撮影装置購入 仕様書

## 1. 調達機器及び数量

X線撮影装置 1式

(詳細は「6. 調達機器構成表」のとおり)

## 2. 設置場所

堀之内医療センター 1階 レントゲン室

## 3. 履行期間

90日間

## 4. X線撮影装置に関する性能、機能などに関する要件

下記の主要な機器の性能及び機能に関する要件を満たしていること。

### 4 - 1 X線高電圧発生装置及びX線制御装置について、以下の要件を満たすこと。

- 4 - 1 - 1 X線制御装置は20kHz以上、周波数固定のインバータ方式であること。
- 4 - 1 - 2 撮影用ハンドスイッチを有すること。
- 4 - 1 - 3 最大出力は32kW以上で短時間定格は80 kV-400 mA、150 kV-200 mA以上であること。
- 4 - 1 - 4 撮影管電圧は150 kV以上の設定ができること。
- 4 - 1 - 5 撮影管電流は400 mA以上の設定ができ範囲内でステップ調整できること。
- 4 - 1 - 6 撮影タイマーは、最短撮影時間2.5msec以下、65ステップ以上で調整できること。
- 4 - 1 - 7 撮影条件はアナトミカルプログラム制御が可能で、36種類以上設定可能なこと。
- 4 - 1 - 8 自動露出制御が可能であること。
- 4 - 1 - 9 撮影操作盤上部に撮影ボタンを配し、撮影用ハンドスイッチ故障時に使用可能なこと。
- 4 - 1 - 10 撮影操作盤は専用スタンド等で配置すること。

### 4 - 2 X線装置及び絞り装置について、以下の要件を満たすこと。

- 4 - 2 - 1 最高使用管電圧は150 kV以上であること。
- 4 - 2 - 2 小焦点1.0 mm以下、大焦点2.0 mm以下であること。
- 4 - 2 - 3 ターゲット角度は16°以上であること。
- 4 - 2 - 4 陽極蓄積熱容量は140hHU以上であること。
- 4 - 2 - 5 最大入力小焦点22kW以下、大焦点45kW以下であること。

4 - 2 - 6 絞り装置は、上下連動、左右連動の開閉が可能であること。

**4 - 3 天井走行式 X 線管保持装置について、以下の要件を満たすこと。**

4 - 3 - 1 天井走行式の懸垂機構であること。

4 - 3 - 2 支柱の上下動ストロークは 1,500 mm 以上であること。

4 - 3 - 3 支柱の縦移動ストローク 2,020 mm 以上、横移動ストローク 1,100 mm 以上であること。

4 - 3 - 4 支持腕回りの回転は±180° 電磁ロックによる固定ができること。

4 - 3 - 5 支柱回りの回転は±180° 可能で固定できること。

**4 - 4 臥位撮影台について、以下の要件を満たすこと。**

4 - 4 - 1 臥位用自動露出検出器（ホトタイマ、ヨンチャンバー等）の受光部を搭載していること。

4 - 4 - 2 床面から 360 mm より 900 mm の範囲において天板上下動ストローク 540 mm 以上あること。

4 - 4 - 3 天板フローティング機構を有すること。

**5. 性能・機能以外の要件**

5 - 1 上記のほか、「7. 納入等に関する諸要件」に基づき対応すること。

**6. 調達機器構成表**

No.	調達物品名	参考形式	参考メーカー	数量	備考
	X 線撮影装置	RADspeed Pro スタンダードクラス	(株)島津製作所	1 式	
	【内訳】				
1	X 線高電圧発生装置及び X 線制御装置	RADspeed Pro スタンダードクラス	(株)島津製作所	1 式	
2	X 線管装置及び絞り装置	0.6/1.2P18DE-85 R-20J	(株)島津製作所	1 式	
3	X 線管保持装置	CH-200M	(株)島津製作所	1 式	
4	臥位撮影台	BK-120M	(株)島津製作所	1 式	

※同等品以上であること。

## 7. 納入等に関する諸要件

### 7 - 1 納入要件

- 7 - 1 - 1 機器及び付属品は、入札時点で製品化されていること。
- 7 - 1 - 2 納入・設置までに機器の仕様変更等がある場合は、その情報を発注者へ提供し、協議のうえ、最新の仕様で引き渡すこと。
- 7 - 1 - 3 発注者と協議のうえ、適切な地震対策を施すこと。
- 7 - 1 - 4 機器設置において、所轄保健所等関係諸官庁への申請・届出・協議の必要がある場合は、使用開始時期を見極め一連の諸検査・手続きに必要な書類の作成を行うこと。またその作成費用は応札価格に含むこと。
- 7 - 1 - 5 機器搬入時、必要に応じて搬入経路の壁・床・天井面の養生を施すこと。また、別途指示のあった場合はその指示に従うこと。
- 7 - 1 - 6 機器搬入等に要する光熱水費等の負担については、発注者と協議すること。
- 7 - 1 - 7 機器搬入及び据付工事等で、過って診療所の躯体・設備・器物等に損傷を与えた場合は、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従い自己の負担において修復すること。
- 7 - 1 - 8 納入・設置についての費用は、応札価格に含めること。

### 7 - 2 保守点検体制

- 7 - 2 - 1 機器・付属品等の保証期間は検収後 1 ヶ年とし、保証期間内の点検・調整等は無償で行うこと。なお、期間終了前の点検・調整は必須とする。
- 7 - 2 - 2 必要な消耗品及び故障等の部品について、安定供給が確保されていること。
- 7 - 2 - 3 必要な消耗品、部品及び故障時等の対応について責任を持つこと。
- 7 - 2 - 4 新潟県内にメンテナンス拠点をもち、メンテナンスサービス員が常駐していること。また、24時間365日体制とし、夜間・早朝、休日・祝日を問わず、故障等の障害時には通報から3時間以内にメンテナンスサービス員が現場に到着し、修理・点検が行える体制を基本とすること。また、持帰り修理や、修理に時間を要する場合等は、必要に応じて代替機を準備すること。

### 7 - 3 教育体制

- 7 - 3 - 1 取扱説明書は日本語とし、発注者が要求する部数を用意すること。
- 7 - 3 - 2 診療所関係職員に対して使用説明および訓練を実施し、安定・安全稼動に関する技や障害発生時の対応技術等を習得できるよう十分な指導を行うこと。
- 7 - 3 - 3 診療所が運用確認（シミュレーション）等を実施する時は、上記「7 - 4 - 2」

が十分に理解されているかを確認・指導し、実運営に向けて支障の無いようにサポートすること。

- 7 - 3 - 4 機器稼働後一定期間は、発注者の求めに応じて技術者を派遣させ、機器の稼働性能を確認すると共に、診療所関係職員の使用操作に対し随時指導すること。

なお、期間は診療所と協議すること。

- 7 - 3 - 5 安定運用となった後においても、発注者から機器使用指導等の依頼があった場合は、速やかに応じること。

#### 7 - 4 その他

- 7 - 4 - 1 本仕様書に記載なき事項で疑義が発生した場合は、発注者と協議し解決にあたること。

- 7 - 4 - 2 本仕様書に記載なき事項で発注者から追加要請があった場合は、発注者と協議し検討のうえ、対応すること。

- 7 - 4 - 3 落札者は、後日別途定める様式により、履行届、納入物品金額内訳書及び納入物品写真を提出すること。